

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎免震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	工事完了に向け関係部署と調整を行うとともに、完成後の免震装置の維持管理について、最適な方法を検討する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	市民サービスの低下防止と来庁者の安全に配慮しながら工事を完成させる。
②①に基づく取り組み結果	関係部署との調整及び免震装置の維持管理について、最適な方法を検討した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	免震化により、防災活動の拠点として大地震に耐える施設となる。
②事務事業の概要	市庁舎の免震改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	工事を円滑に進め、来庁者や職員の安全確保を努めながら改修工事を進めたが、進捗に伴い、免震本体工事以外の改修を要する箇所が見つかったため、当該改修に要する工期を延伸した。						
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠	
	i	改修割合	0	38	92	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	806,149	1,649,756	金額(千円)	内容	745,546		
国支出金(千円)			1,628,928	工事関係費			
県支出金(千円)			19,848	調査設計費			
市債その他(千円)	778,700	1,602,900			722,900		
一般財源(千円)	27,449	46,856			22,646		

IV 評価・検討

①課題	工事の完成に向け、市民サービスの低下の防止や安全の確保に努める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	工事が適正に進捗しているか確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	免震改修工事を実施する(平成28年度分)	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	免震改修工事を実施した(平成28年度分)	2,165,499	2,165,499	当初	1,490,000	1,649,756	H27からの繰越	643,851
				H27⇒28繰越	643,851			
③達成状況	未完了			補正	31,648		現年分	1,005,905
④未完了・非着手の理由	通次繰越のため			流用・充当	0			
平成29年度への繰越額(単位:千円)							515,742	

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎等改修等事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度からの新規事業のため、前回の評価で掲げた内容なし。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら、工事を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度からの新規事業のため、取り組み結果なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎建物及び敷地内	意図(対象をどうするのか)	執務スペースの改善及び防災対策を強化する。
②事務事業の概要	市庁舎建物及び敷地内において、施設の改修や整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、工事中においても安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	関係部署と調整を図り、工事発注のための設計書を完成させた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 改修割合			5%	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	0	0	金額(千円)	内容	85,495
国支出金(千円)			4,922	調査設計費	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)					64,100
一般財源(千円)					21,395

IV 評価・検討

①課題	施設の利用目的・ニーズに合ったものを改修・整備する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	関係部署と調整を図った結果と工事の成果を検証するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	改修工事又は整備工事に係る設計業務を実施する	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	改修工事又は整備工事に係る設計業務を実施した	10,500	10,500	当初	10,500	4,922	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	4,922
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				0		